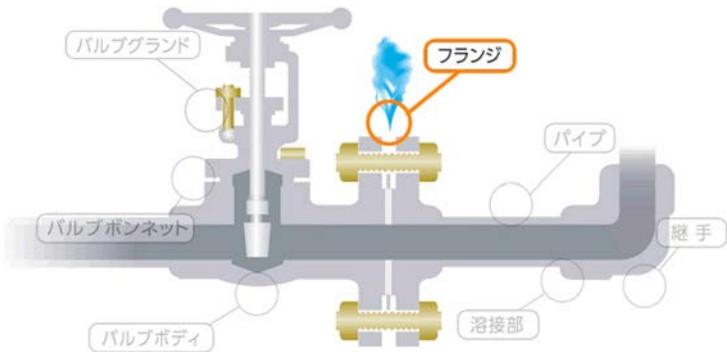


フランジからの漏洩を プラントを稼働した状態でとめるには？



フランジは配管と配管の接続に用いられ、ガスケットをボルトナットで締めつけて密着させることで隙間を無くし、内部流体の外部漏洩を防いでいます。

運転中に漏れが発生する場合、原因の多くはガスケットの劣化にあります。運転を継続した状態でガスケット交換は非常に困難です。

ファーマナイトのワイヤー工法なら・・・

- ★ 稼働した状態で補修ができ、作業は即日完了します。
- ★ 設備停止にとまらなう、経済的ロスや納期遅れを回避できます。

施工条件：フランジの隙間が 7mm 程度、非可燃性流体、圧力 4.0MPa、温度 350℃以下

施工方法

Step 1)

フランジにシール材注入用の貫通穴をフランジに加工し、アダプターを取り付けます。

Step 2)

フランジの隙間に真鍮ワイヤーを入れてフランジ（右上図：赤色矢印）をかします。

Step 3)

劣化したガスケットの外側と挿入したワイヤーの間にシール材（右下図：青）を注入することで新たなガスケット層を成型します。

漏れがとまったことを確認して注入器具を取外し、閉止プラグを取付けて補修完了です。

